

(博士前期課程) 電気電子・機械工学専攻【機械工学コース】 アドミッション・ポリシー

研究科・専攻ポリシー

機械工学の専門知識を基盤として、電気電子工学の知識を加味することで、グローバルで多面的な視野に立ち、高い倫理観と責任感を持って現実の問題に取り組める高度な専門知識を有した実践的技術者を養成する。

<求める人物像>

- 機械工学の基礎知識を具体的な研究課題に応用して、実験や解析した結果を工学的に考察する能力を深化させようとする意欲のある人
- 論理的な表現力、プレゼンテーション能力、国際的なコミュニケーション能力を磨こうとする意欲のある人
- 与えられた制約の下で研究を実施してまとめる創造的なデザイン能力を深化させようとする意欲のある人
- 人間的な成長および自己実現をめざす向上心をもち、共同作業の重要性を認識し実行できる人

入学前に学修しておくことが期待される内容

博士前期課程では専門分野の先人の知見を理解したうえで、自分の研究の目的を設定し、その新規性、有用性を説明し、研究を遂行し有意な成果をあげて論文化し、プレゼンテーションすることが求められる。そのためには機械工学の基本である熱、流体、材料、機械の4つの力学を活用すること、また実験やシミュレーションをするための機械設計、材料選択、加工、コンピュータ活用、英語などの知識、技能を学修しておくことが期待される。

学内進学選考

機械工学の基本である熱、流体、材料、機械の4つの力学を活用すること、また実験やシミュレーションをするための機械設計、材料選択、加工、コンピュータ活用、英語などの知識、技能を十分に学修しておくことが期待される。

一般入試 社会人入試

機械工学の基本である熱、流体、材料、機械の4つの力学と英語の読み書き能力を十分学修すること、また英語については TOEIC の成績（ただし、オンライン受験による点数は受け付けない）を評価するので必ず受験しておくこと。

外国人留学生入試

学科試験を行う英語、数学を十分学修すること。また機械工学を学ぶ基本である熱、流体、材料、機械の4つの力学を学修し、十分な日本語能力を習得すること。

学内進学入試 一般入試 社会人入試 外国人留学生入試 共通

博士前期課程では専門分野の先人の知見を理解したうえで、自分の研究の目的を設定し、その新規性、有用性を説明し、研究を遂行し有意な成果をあげて論文化し、プレゼンテーションすることが求められる。